

びわ農家を作るレモン！？「びわ&レモン」の複合経営の取組

～びわ農家の経営安定を目的としたレモン経営力強化研修会の開催～

安房農業事務所改良普及課 令和5年7月27日発

レモンは、苗木を植えてから経済栽培開始まで約3年と、生育が比較的早いことが知られています。令和元年度に、そのことに着目したびわ農家10名が主に耕作放棄地にレモンを植栽しました。本年の秋から本格的に果実の収穫が始まる見込みであり、今後は安定生産のため、若木の整枝方法等の栽培管理技術の習得が重要です。また、販路に関しては他産地との競合も想定されるため、事前に対応を考える必要があります。

そこで農業事務所では、JA安房及び農林総合研究センター暖地園芸研究所と連携して、7月21日に経営力強化研修会を開催しました。研修会には農家8名が参加し、若木の整枝方法、国内や県内のレモン市場について学びました。研修後、農家は作付面積拡大の検討やJA安房と販路の打合せを行うなどの動きが見られました。

農業事務所では、びわとレモンの複合経営の確立に向けて引き続き支援します。



農林総合研究センター職員による
若木の整枝方法の指導



レモン販路に関する情報交換会